

1 日常の学習状況・課題について

- (1) 歌唱のパート練習など、リーダーを中心に自分たちで主体的に練習することができる。
- (2) 意見共有等を通し、音楽的な見方や考え方をする生徒が増えてきた。
- (3) 音楽的な見方や考え方をする力が高まりつつあるので、協働的な学習で共有する機会を増やし、表現する力を伸ばす。
- (4) ICT を使った表現活動を行い、一人一人の音楽への関心を高め、表現する楽しみや音楽の面白さに気付かせる。
- (5) 小平第二中学校への誇りと自信につながるような合唱を、儀式や合唱コンクール等で発表する。

2 改善の計画

- (1) 音楽的な見方や考え方を働かせて音楽を味わい、主体的に考えを深められるワークシートの工夫をする。
- (2) グループ学習の協働的な学習により、深い学習につながる授業の工夫をする。
- (3) 歌唱や器楽の授業では、動画を撮影するなどして、自分の表現の仕方を振り返り、技術向上を図る。

3 非認知能力を高めるための手だて

- ・リーダーを中心としたグループ学習やパート別練習を積極的に取り入れ、自分たちで課題を解決したり、表現力を高めたりするための活動を行っていく。

4 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。